

平成30年7月26日

各 位

上場会社名	株式会社ドリコム	
代表者	代表取締役社長	内藤 裕紀
(コード番号)	3793)	
問合せ先責任者	取締役	後藤 英紀
(TEL)	03 - 6682 - 5700)	

業績予想の修正および持分法による投資損失の発生に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月10日に公表いたしました平成31年3月期第1四半期の連結業績予想を修正いたしますとともに、下記のとおり営業外費用（持分法による投資損失）を計上する予定となりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成31年3月期第1四半期連結業績予想数値の修正（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,100	△300	△400	△360	△12.73
今回修正予想 (B)	2,860	△420	△510	△500	△17.68
増減額 (B-A)	△240	△120	△110	△140	
増減率 (%)	△7.7	—	—	—	
(ご参考) 前期第1四半期実績 (平成30年3月期第1四半期)	2,572	34	17	△4	△0.14

(2) 修正の理由

第1四半期会計期間（平成30年4月1日～平成30年6月30日）におきましては、売上拡大を目指し導入を進めている大型改修で、当該投資を保守的に期間費用として認識いたしました。その結果、営業利益が当初想定を下回る見通しです。なお、大型改修の投資額は当初計画から変更ございません。加えて「2. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上及びその内容」で記載の営業外費用を計上することから、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回発表の業績予想を下回る見込みとなりました。売上高については、経年やイベント施策の不調により減収となりました。しかし、当該減収の利益に与える影響は、新たにリリースされたタイトルが前回予想比で収益寄与したことと、運用費の減少により軽微となります。

今後につきましては、既存タイトルの運用効率化を推し進め、収益改善を目指すとともに、新ブラウザゲーム事業の拡大に一層注力して参ります。

2. 営業外費用（持分法による投資損失）の計上及びその内容

当社の持分法適用関連会社である株式会社BXDでは、平成30年4月より、同社が開発・運営を手掛けるプラットフォームにて、HTML5を中核とする技術を活用したオンラインゲームの提供を開始いたしました。しかしながら、同事業は開発段階にあり、費用先行が続いていることから、平成31年3月期第1四半期において、持分法による投資損失約85百万円を営業外費用として計上する見込みとなりました。

以上